

令和2年度 7月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	19回
2	従事補導委員数	73人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	287人



7月の補導日誌から

7月1日（水）

専門補導員 記

巡回経路 市内公園・小中学校通学路・青沼駅付近及び青沼児童館

補導の様子

平賀新町公園で男児3名がボール遊び、女児4名があずま屋で仲良く宿題をやっており、微笑ましかった。公園内での落書のことを聞くと、「過去に描いているのを見た」、「この地区の人ではない中学生か高校生だった」という証言があった。青沼児童館は19名の子どもが館内外で遊んでいた。学校再開時は多かったが、最近では減少傾向という。昨年は、青沼小学校在籍児童50人前後のうち40名近くが利用したとのこと。「今年度も同様になるでしょう」との話でした。

7月2日（木） 学校訪問（田口小学校）

17班（I・K記）

概要

今年度最初に田口小学校の先生たちとの懇談会を開催いたしました。最初に校長先生より学校目標や育成についてのご説明をいただきました。『明日も来なくなる楽しい田口小学校』を念頭に全員で理想の小学校を目指して活動している内容の説明をいただき私たちは感動させられました。ぜひ達成のため頑張っていたいただきたいです。生徒指導の先生から『気づき 考え 実行する』力の育成でJRC活動を展開している内容もご説明いただきました。学校周辺も活動を通じて常に清掃されている様子を伺うことができ、とても有意義な学校訪問になりました。補導委員の皆さんからも活動に対しての感動等のお話が出されました。これからも地域の皆さんと協力しながらより良い田口小学校になるようご対応の程よろしく願いいたします。

7月3日（金）

専門補導員 記

巡回経路 中込児童館 → ちびっこ元気クラブ → 中込駅
→ 佐久城山児童館 → 佐久総合運動公園

補導の様子

中込児童館では、雨のため館の中で皆思い思いに学習したり、本を読んだり、楽しそうに過ごしている様子が見られた。利用する児童数は50人を超え、6月下旬から増加傾向とのこと。館長さんからは、「できたばかりです。1部どうぞ」と児童館だよりをいただいた。ちびっこ元気クラブは、現在登録が31名で、問い合わせもいくつもあるという。「今日は、大学生2名がお手伝いに来てくれて

いるので助かっています」と話されていた。佐久城山児童館では七夕の短冊に、児童の素直な思いが書かれていて、思わず笑みがこぼれた。どの児童館も児童数が多いので、すぐに測れる体温計があると入館時に測れて便利かなと感じた。

7月6日(月)

専門補導員 記

巡回経路 平根児童館 → 小田井児童館 → 大型ゲーム店
→ 佐久インター付近地下道 → 岩村田駅

補導の様子

平根児童館長は、「今年度は上級生から七夕飾りを作りたいという声が出なかった」と残念そう。1年生は漸く落ち着きが見られてきたとのこと。2年生は全員が静かに宿題と向き合っていた姿が印象的。小田井児童館では入口に七夕飾りがあり、逆境の時にも希望を見出そうという逞しさが読み取れた。大型ゲーム店は人気店らしく相当数の大人が興じていた。少年の姿は見えなかった。岩村田駅は主に高校生の乗降で混雑していたが、整然とした行動を確認した。

7月7日(火)

14班 (K・M記)

巡回経路 中込駅 → 成知公園 → 中込児童館

補導の様子



新型コロナのため久しぶりでしたが、成知公園に行くと祖母が孫の遊びを見ているが、「子どもは何をするか心配だ。」と言っていた。児童館では、館長が玄関に飾ってある七夕飾りを見せてくれた。今日は75人が来て遊んでいた。声かけすると子どもからは返事が返ってくるが、親はたいがい返ってこない。

7月8日(水)

専門補導員 記

巡回経路 野沢会館 → 切原児童館 → 下の宮公園(諏訪神社)
→ 臼田児童館 → 城山公園

補導の様子

野沢会館では、自習室に3名の高校生の学習中の姿が見えた。切原児童館では、七夕飾りに将来の夢として「かんごしさんになりたい」の短冊が複数あった。下の宮公園には小学校4～5年生の計12人がそれぞれのグループで遊んでいた。水曜日は早く帰宅できるとのこと。臼田児童館では、今年は「密」を避けるため、七夕飾りは作らなかったとのこと。城山公園では小学校6年生男女児8名が曇天の中、元気に走り回っていた。

7月9日(木)

3班 (A・M記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → インターネットカフェ
→ ミレニアムパーク → 佐久平駅 → 大型スーパーゲームコーナー

補導の様子

市民交流ひろばでは、大人が数人話をしているだけでした。インターネットカフェは1日から営業再開したということで、客1名、スタッフ1名で静かでした。プレイサークルのバスケットゴールが破損しており、子どもたちに聞くと、少し前から破れていた、という。早く直してもらいたい。電柱に青色の落書きがありました。大事にきれいに使ってもらいたいものです。

※追記：バスケットゴール破損及び落書き…専門補導委員が公園緑地課に引き継ぎ

7月10日(金)

専門補導委員 記



巡回経路 田口児童館 → 青沼児童館 → 臼田図書館
補導の様子

田口児童館・青沼児童館を訪問。両児童館の館長に最近の様子を尋ねた。両児童館とも「以前と比較すると来館児童は増加している。」とのこと。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『入館者名簿に体温測定結果の記載』『ソーシャルディスタンスの確保』『三密の回避』等に配慮して児童館の運営を行っていた。児童が三密状態になると職員が注意指導するものの、職員が目を離すと再び三密状態になり、職員の大変さがうかがえた。

7月13日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 佐久平浅間児童館 → カラオケ店 → 東児童館
補導の様子

佐久平浅間児童館長は、7月になり利用児童は著しく増加傾向にあり、今後100人程度になるかもしれないと予測された。最近の方が緊張感が高いという。首都圏域の感染者の高数値が背景にあり、電子体温計の配備を館長会議で担当課に依頼したという。カラオケ店は「客は戻ってきた。高校生も相当いるし、一人だけでの来店も多い」という。感染対策をして風評に負けず営業したいという。東児童館長は、低学年児童を中心に利用児童は増加傾向にあると語った。

7月14日(火) 夜間巡回

7班 (Y・F記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
補導の様子

市民交流ひろばには親子1組と高校生2名がおり、ミレニアムパークのプレイサークル内では計3名と通常巡回時間帯より遥かに少ない気がする。公園管理人の話では、遅い時間に駐車場は車が増えるという。中には駐車場でバーベキューをする人がいるようであるが、パトカーの巡回もあり、今迄に特に問題は起きていないとのこと。大型スーパー内のゲームコーナーやフードコートとも、高校生の姿は少ない。コロナ禍の影響もあり、また夜間巡回時間帯の関係か、子ども達にはあまり会えない巡回となった。

7月15日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 望月児童館 → 若駒児童公園 → 望月バスターミナル
→ 望月歴史民俗資料館 → 浅科図書館

補導の様子

望月児童館では、低学年児童が座机3つに各々6人程が集まりマスクを着け学習していた。館長は、「7月に入り、利用児童は増加傾向にある。特別な支援が必要な子が数人おり、対応に苦慮することもある。また、保護者には、館での様子を見て欲しい。」との願望も語られた。若駒児童公園の落書き(6/23確認)は、修繕されたことを確認した。望月バスターミナルでバスの運転手さんに伺ったところ、最近では高校生の乗車は殆どなく、待合所も問題がないという。

7月16日(木) 学校訪問(佐久平総合技術高校臼田キャンパス) 18班 (S・J記)

概要

今年度最初の巡回で、佐久平総合技術高等学校臼田キャンパスを訪問した。校長、副校長が対応してくださった。二カ月間という長い休校であったため、生徒の様子が心配であったが、特別トラブルもなく現在授業の遅れを取り戻すべく取り組んでいるとのこと。ストレスは多少あるようだが、生徒も新たな生活様式で頑張っていることなどをお聞きし、一安心した。心配な点は、コロナ禍の影響で部活時間縮小、制限等があり、部活動加入率の低下がみられるとのこと、現環境下にいる生徒が可哀そうに思えた。

7月17日(金) 19班 (K・Y記)

巡回経路 あさしな児童館 → 浅科図書館 → 矢嶋泉公園

補導の様子

児童館では、子どもたち10人位が庭で元気に遊びまわっていた。職員の方に話を聞くとコロナ対策で苦勞されているとのことでした。(子どもたちは、どうしても密になってしまう)利用は高学年が少なく、4年生と1年生が多いとのこと。子どもたちに声かけすると元気な返事が返ってきた。図書館は、親子連れ3名と他に大人が数名。コロナ対策で滞在時間を1時間以内に制限しているとのことでした。天井からの雨漏りがありホールの真ん中にいくつかバケツが置いてあった。梅雨の時期で大変そうでした。泉公園は誰もいませんでした。

7月20日(月) 専門補導委員 記

巡回経路 鼻顔公園 → 王城公園 → 枇杷坂公園 → ミレニアムパーク
→ 佐太夫町公園 → 平賀新町公園 → 城山公園 → 成知公園

補導の様子

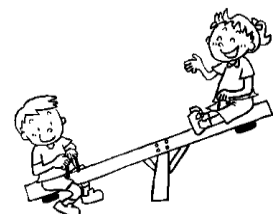
鼻顔公園では園児と年配者の2組の家族連れがおり、枇杷坂公園では小学1年生の女児2名が絵を描いて遊んでいた。ミレニアムパークのプレイサークルでは5名の青年が競技の練習をしていた。午後5時の音楽を境に佐久城山公園、成知公園では多くの小学生が自転車で帰る場面を見た。公園で児童を見守っていた女性に伺うと、「午後5時で小学生は家に帰るのでしょうか」とのこと。なお、道路や駅周辺や通学路で徒歩や自転車で帰宅を急ぐ中・高校生の姿を見た。月曜日は部活動等がなかったためと思われる。

7月21日(火) 12班 (U・T記)

巡回経路 県民佐久運動広場 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園

補導の様子

県民佐久運動広場では、野沢中学校の生徒がテニスの練習をしていた。新型コロナの影響で今まで練習ができなかったが、今後佐久大会があるとのこと、張り切って練習しているのがよく分かった。原公園では小学生6名が保護者の方と遊んでいた。児童・保護者ともものびのび遊んでいたのが良かった。



7月22日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 コンビニエンスストア2店舗 → パチンコ店 → 佐久良公園
→ 若駒児童公園 → 望月児童館 → 布施温泉公園

補導の様子

青少年に有害な社会環境排除県民運動の強化月間に合わせ、望月地区のコンビニエンスストア2店舗とパチンコ店1店舗を巡回した。どのお店も青少年健全育成協力店のステッカーが貼られており、快くチェック活動に協力して下さった。望月児童館では、40人を超える児童が利用していた。外で縄跳びをしたり、室内で宿題などの学習をしたり、元気そうに過ごしていた。マスク着用や手洗い、手指の消毒など指導員の皆さんが児童の指導のためにかなり気を使っている様子が見られた。各公園は、やや雨模様という事もあってか子どもたちの姿は、見られなかった。



7月27日(月)

夜間巡回

8班 (K・H記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 佐久平交流センター
→ ミレニアムパーク → 佐久平駅前交番 → 佐久平駅

補導の様子

市民交流ひろばでは、高校生の男女2人。電車を待つ時間とのことでそっとしておいてあげたい気持ちもありましたが、青少年のために地道な巡回活動をしていることを認識してもらえればありがたい。佐久平交流センター第二駐車場沿い新幹線高架に以前は落書きがありました。今回は見当たらず一安心。佐久平駅前交番で警察官から最近の犯罪や少年非行の状況を聞いた後、大型スーパー内へ。コロナと天候のせいか閑散としていた。今回夜間補導を行いました。昼間と違った雰囲気も感じよかったです。

7月28日(火)

20班 (O・A記)

巡回経路 望月支所 → 大伴神社 → スーパーマーケット → 若駒児童公園
→ 望月バスターミナル → 望月支所

補導の様子

今年度最初の巡回となりました。補導委員さんが交代した地区があったので、初顔合わせとなった。昨年の最初の順路で見回りましたが、児童・生徒ともにあまり会うことができませんでした。

7月29日(水)

9班 (U・M記)

巡回経路 野沢会館 → 県民佐久運動広場 → 野沢児童館 → 中嶋公園
→ 原公園 → 城山公園

補導の様子

県民佐久運動広場、原公園は草刈りが実施され、環境美化により非行防止に繋がると思いました。原公園では親子連れが多く、15人ぐらいが楽しそうに遊んでいました。城山公園では、小学生が5、6人でかくれんぼ、中学生が7、8人でダンスの練習をしていました。中学生は文化祭に向けてのようです。時節柄、無事実施になればよいと思います。児童館では60名程が来館し、元気に遊んでいましたが、休校により、1年生が学校になじめない問題もあるようです。うまく解決したいものです。

7月30日(木)

13班 (K・H記)

巡回経路 中込駅 → 成知公園 → 中込児童館 → ちびっこ元気クラブ
→ サングリモ

補導の様子

成知公園では、天気が良かったこともあり、親子連れや大勢の子どもたちがブランコや滑り台で楽しそうに遊んでいた。中込児童館に行くと外にいた子どもたちが元気よく「こんにちは。」とあいさつしてくれた。今日は44人の来館があり、砂場で遊んだり走り回ったりしていた。館長の話では、8月1日から8月18日までの夏休み期間中は、一日10～15人の来館が予想されるとのことだった。ちびっこ元気クラブに行くと、外で4人がボールで遊んでいた。他の子どもたちは、成知公園に行ったとのことだった。

7月31日(金) 夜間巡回

2班 (M・K記)

巡回経路 カラオケ店 → ねむのき公園 → 佐久平駅 → 大型スーパー

補導の様子

カラオケ店では、新型コロナウイルス感染防止のため、1部屋5～6名定員の部屋を3名で、3名定員の部屋を1名で使用して営業を行っているとのこと。ねむのき公園には人はいませんでした。佐久平駅には、電車待ちの高校生が5～6名いました。大型スーパーでは、電車待ちの女子高生が、プリクラを撮っていました。ゲームコーナー、フードコートにも人があまりいなく、閑散としていました。



＜7月の補導を終わって。 専門補導委員＞

1 街頭補導について

長梅雨の7月、補導委員の皆さんとの街頭補導が再開されました。そのうち、夜間補導が3回、学校訪問は2回でした。学校が再開されて2か月になりましたが、子ども達は、概ね、仲間や先生とのふれ合いや学び合いを通して、生き生きと喜んでいる様子が伝わってきました。

浅間・東地区の各班の皆さんによる夜間補導は、空模様の影響か、子ども達の活動時間の変容か理由は分かりませんが、少数の子どもを見かける程度でした。本年度は地域のお祭り等も中止になり、子ども達が様々なイベントや人との関わりを通して成長する機会が失われ、人間的な幅を広げられない寂しさを感じています。

2 コロナ禍と猛暑のなかの補導活動について

(1) 補導活動前の検温と適宜の除菌消毒

集合時の検温の実施と巡回中の手指の消毒にご協力をお願いします。

(検温器・消毒液は専門補導委員が持参します。)

なお、発熱症状のある方は、ご遠慮いただく場合があります。

(2) 熱中症の予防のために

熱中症にならないよう「屋外で2m以上の十分な距離がある場合は、マスクをはずす」、「喉が渇いていなくても、こまめに水分を補給する」などの対応をお願いします。

出典：厚生労働省